

電鍍技術の基礎と 微細加工製品への応用

大阪開催

- ◆ 日時：2012年7月11日(水) 12:30～16:15
- ◆ 会場：ドーンセンター 4F 中会議室1【大阪・中央区】
- ◆ 聴講料：1名につき49,980円(税込、資料付き)

⇒1名につき24,990円(税込、資料付き)

⇒2名以上同時申込で1名につき21,000円

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

電鍍技術の基礎 (12:30～14:15)

～マスタ作成・離型処理・利用事例・応用開発～

若狭電機産業 営業部 マネージャー 清水 利寛 氏

電鍍に必要なマスター製作、事前処理のスパッタリング、また離型処理や洗浄など電鍍金型として扱う上で必要な一連の内容をご説明致します。

1. 電鍍(エレクトロフォーミング)とは
2. 電鍍品製作の流れ
3. マスタ製作
4. 導電化処理
5. 3-DEF(3-D ElectroForming)の特徴
6. 平面電鍍事例
7. ロール電鍍
8. 離型処理
9. 洗浄
10. ナノインプリント
11. 電鍍技術をベースとしたアプリケーション開発(光学フィルムなど)

【質疑応答・名刺交換・個別相談】

電鍍法によるマイクロ金型の (14:30～16:15)

製作と微細加工製品への展開

(株)ナノクリエート 代表取締役 服部 正 氏

情報機器・バイオ・医療分野などからマイクロ・ナノメータサイズの3次元構造体加工技術が強く求められている。しかしながら現在の機械加工技術では今後要求される微小化には期待できない。またコストの面からも低コストの要求が非常に強い。そのためには転写による加工が強く求められている。そのキー技術となるのが電鍍法によるマイクロ金型作製技術である。

本講座では、まずリソグラフィによる微細加工技術について解説し、これを電鍍マスターとした電鍍法による微細金型作製についての基礎から応用展開について、実例をもって紹介する。

1. 微細化の要求とその動向
 - 1-1. 微細加工製品の動向と課題
 - 1-2. 電鍍(めっき)による微細加工製品への期待
2. 電鍍による微細金型の製作
 - 2-1. 金型マスターの作製
 - 2-2. Ni電鍍による微細金型の製作
3. 事例
 - 3-1. Ni電鍍金型によるライティングパネル用導光板の製作
 - 3-2. Au電鍍による回折格子の製作
 - 3-3. Cu電鍍を用いたマイクロコイルの製作
 - 3-4. その他
4. まとめ

【質疑応答・名刺交換・個別相談】

(講師紹介割引)『電鍍』セミナー申込書<s>

| | | | |
|-------|---|-----|--|
| 会社・大学 | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX | |

| お名前 | 所属・役職 | E-Mail |
|-----|-------|--------|
| ① | | |
| ② | | |

案内登録(無料)※複数選択可 メール 郵送 FAX

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要な事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に お受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <http://www.rdsc.co.jp/entry/>

個人情報保護方針に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <http://www.rdsc.co.jp/privacy/>



株式会社 R & D 支援センター

〒135-8073 東京都江東区青海2-4-32 タイム24ビル 4F 4SO-28
TEL) 03-3599-5811 FAX) 03-3599-5812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>